

## JSEKM 第5回幹事会議事録

と き：2012年9月29日（土） 15:00～17:00

ところ：昭和音楽大学北校舎3F会議室

出席者：柳田孝義、下八川共祐、出田敬三、吉田泰輔、小倉隆一郎、森下絹代、阿方 俊、  
生頼俊秀

欠席者：仁田悦朗、中地雅之、海津幸子

### 1. 第8回大会進捗状況と確認事項

#### 1-1 大会スケジュールについて

要項あいさつ文 ⇒ 柳田代表に依頼

基調講演 ⇒ 事務局より三木純一会員に基調講演 DVD テロップの作業の確認

総 会 ⇒ 幹事選出に関する会則改訂案（現行の幹事 10 名の内 8 名を選挙で選出し残りの 2 名を幹事代表が指名するとなっているものを、6 名を選挙で選出し 4 名を代表が指名）を吉田幹事に依頼。総会で吉田幹事から提案する。

会計監査 ⇒ 中村誠または赤石敏夫会計監査に依頼する。両名とも欠席の場合、署名・捺印を事前にもらい、総会で幹事が代読。

昼 食 ⇒ 大会関係者用として 12105 号室、一般会員には食堂を用意する。  
ただし、当日は学内の食堂・コンビニは営業していないため、昼食は各自用意する。

パネルディスカッション ⇒ 森下幹事から以下の報告があった。

パネラー 森垣桂一（国立音楽大学）作曲の観点から

宮本賢二郎（浜松学芸高等学校）カリキュラムに関する意見

西岡奈津子（平成音楽大学）スコアリーディングの必要性

それぞれの専門的立場からの発言とディスカッションが期待される。

司会：森下絹代 書記：柴田 薫

事例発表 ⇒ 小倉幹事より以下の報告があった。

#### ① 昭和音楽大学 ML テキストの開発

テキストの紹介と iPad を活用した事例報告

発表者：森 篤史、諸井野ぞ美

#### ② 平成音楽大学 ML 教育の事例

キーボード・ハーモニーの授業に ML キーボードを活用した事例報告

発表者：脇山 純

司会：小倉隆一郎 書記：田中功一

研究発表 ⇒ Room-1 電子オルガン周辺の内容

Room-2 電子オルガン演奏・ハイブリッドオーケストラ

Room-3 電子キーボード・ML 関連

Room-1 の書記の柴田先生がパネルディスカッションと重複しているため、他の人を依頼した方がよい。

研究コンサート ⇒ 演奏形態と楽器借用台数と日程を最終決定し、関係メーカーに

依頼する

プログラム

歌曲 Grieg の歌曲 2 曲 西義一先生とハイブリッドオーケストラ

Beethoven / Egmont Coriolan 吹奏楽と電子キーボード

Wagner / Die Meistersinger von Nürnberg 吹奏楽と電子キーボード

司会について、初山会員に打診する。

## 1-2 その他

学生アルバイトについて、次の事項を確認した。

人数は当日 6 名必要であり、前日 3 名(当日と同じメンバー)を依頼する。

## 2. 選挙 (生頼)

### ・ 選挙までの経過

投票の案内、投票用紙は作成済み、近日中に送付、10 月末締切り。\*一部の方の資料に 9 月 30 日締切りとなっているが 10 月末日が正しいものであり、訂正をお願いしたい。

### ・ 開票場所と立会い

11 月 4 日 14:00 昭和音楽大学北校舎 3 F 会議室

立会い 柳田孝義、阿方俊、生頼俊秀。客観性をもたせるため立会人 1 名を依頼する(生頼)

## 3. 第 9 回大会会場

- ・ 次期会場候補として、国立音楽大学、洗足学園音楽大学、昭和音楽大学などが挙げられ、順次相談していくことが確認された。

会場校依頼に当たり、会場校によっては、研究コンサートは必ずしも実施しなくてもよいのではないかとの意見が出され、承認された。

## 4. 学会 (学術団体) の登録

- ・ 宮本賢二郎会員より日本学術会議協力学術研究団体として登録して、論文を学術研究団体からも広く発信していくべきではないかとの質問が事務局にあった。検討の結果、意義は認めるが、本学会の現状を考慮すると時期尚早であり、また、一度申請して却下されると以降の登録が難しくなるので、将来の検討事項にすることになった。

## 5. 海外情報 (阿方事務局長より演奏者のレポートが配られ以下の説明があった)

- ・ イタリア プレッジョ、コルチアーノ (8 月、赤塚博美、海津幸子) ⇒ ボエームおよびトスカ
- ・ 韓国 ソウル (8 月、市川侑乃、千葉祐佳) ⇒ フィガロの結婚
- ・ 韓国 ソウル (11 月、赤塚博美) ⇒ モーツァルト・オペラハイライト
- ・ 中国 広州 (11 月、阿方俊、太田茂) 第 1 回国際電子キーボード芸術フェスティバルへの参加

国内情報ではあるが特異なものとして、弦楽器と電子オルガンデュエットによる「協奏曲の夕べ」(11 月 28 日、昭和音大ユリホール) が紹介された。これは菅野博文(チェロ、チャイコフスキー国際コンクール第 3 位)とジェラルド・プーレ(ヴァイオリン、パガニーニ国際コンクール優勝)に森下絹代幹事、内海源太、千葉祐佳会員が共演するもの。

6. その他

学会誌「電子キーボード音楽研究」第7号に掲載予定の中国語原稿（第7回大会基調講演およびハルビンの事例発表）の翻訳料として3万円を計上したいとの事務局から要請があり、了承された。

9月26日現在のスケジュール \*「JSEKM 第8回大会」を添付

(報告 小倉隆一郎)

## JSEKM 第8回大会

(2012年9月25日現在)

10:00	受付 (12号館ロビー)		
10:30	全体会 (12101室)		
	あいさつ 西 義一 (文教大学教育学部長) 柳田孝義 (学会代表)		
10:45	基調講演 梯 郁太郎 (公益財団法人ローランド芸術文化振興財団理事長) *DVD		
11:30	総会		
12:00	昼食		
13:00	パネルディスカッション・事例発表		
	パネルディスカッション (12101室)		事例発表 (516ML室)
	電子オルガンの専門教育のあり方 パネラー: 森垣桂一 (国立音楽大学) 宮本賢二郎 (浜松学芸高等学校) 西岡奈津子 (平成音楽大学) 司会・進行: 森下絹代 書記: 柴田 薫	① 昭和音楽大学 ML テキストの開発 発表者: 森篤史、諸井野ぞ美 (昭和音楽大学) ② 平成音楽大学 ML 教育の事例 発表者: 脇山 純 (平成音楽大学) 司会: 小倉隆一郎 書記: 田中功一	
14:30	休憩		
14:45	Room - 1 (12102室)	Room - 2 (12103室)	Room - 3 (12104室)
	司会: 金銅英二 書記: 柴田 薫	司会: 西山淑子 書記: 千葉祐佳	司会: 富田英也 書記: 二宮紀子
	森松慶子 (フリーライター) インターネットを介したユーザー主導のオルガン運動	市川侑乃(演奏家) 韓国室内オペラと様々な編成スタイルでの電子オルガン活用	小沢真弓 (NPO シャテ) 電子キーボードがピアノの代替から脱却する時
15:30	古田政伸(横浜アオバ楽器) 音楽普及における講師のレベルアップについて	白岩優拓(電子オルガン演奏家) 「電子オルガンを室内楽編成の一員にするための作曲法」	松本裕樹(和歌山大学) 「電子楽器を用いた介護予防運動による認知症予防の試み」
16:15	三木純一(ローランド株) 「古楽における電子楽器の活用」	宮本賢二郎 (浜松学芸高等学校) ヘンゼルとグレーテルにみるハイブリッドオーケストラ	田中功一 (国際学院埼玉短期大学) 携帯電話を利用したピアノ学習支援システム
17:00	コンサート (13101ホール)		
	「ハイブリッドオーケストラによる歌曲とオーケストラ曲の試み」 ・ 歌曲 Grieg の歌曲 2 曲 ・ オーケストラ曲 Egmont Coriolan Die Meistersinger von Nürnberg ・ 出演 西 義一 (Bar) 文教大学吹奏楽部 教育学部音楽専攻生 (EKB)		
18:00	懇親会 (学食)		